

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
1	2	五味 平一	(1) 少子化・子育てについて富士見町では重大な局面を迎え行政また町民が一体となって行動を起こさなければならないこれらの問題は何か現状の課題はについて	① 日本はなぜ少子化現象が起こり、現在も進行し続けているか。富士見町の現況は。また少子化が加速すると町への影響は。	町長
				② 1990年には戦後最低の合計特殊出生率1.57ショックを経験した。その後国は各種の対策を行ってきたが未だ解決には至らない。町が少子化社会を予測した時期、過去7年間と本年度予定出生数を数値から見る課題は。	
				③ 最近「子育て罰」と言う言葉を聞くが、名取町長の思いと政策は。また令和5年度の異次元(今までとは違う)の取組施策は。協働として町民に求めるものは。	
				④ 町長の言う「すべての施策は人口対策に通じる」とあるが、抽象的であり理解できない。説明を具体的に。	
				⑤ 厚労省調査、令和3年度の男性の育児休業取得率は13.97%であり、女性は85.10%。この数値から見ると、女性に負担が多すぎると思うが、町長の思いと今後の考えは。役場職員の実態は。	
				⑥ 社会経済から見た少子化・子育てについて、富士見町での分析は。分析に基づいた対応は。令和5年度予算総額のうち、その額の占める割合は。少子化・子育て支援に集中する考えは。	
				⑦ 経済的支援拡充(チルドレンファースト)の今後の考えは。また、令和5年度予算の中で、少子化・子育て対策に、異次元の対策予算が盛り込まれているか。	
				(2) 富士見町公共施設再編方針による小学校統合について	
2	1	川合 弘人	(1) 帰去来荘(旧小川別荘)跡地の歴史的価値、文化的価値を活用する考えは	① 町内で2番目に古い別荘で、富士見高原が別荘地となる先駆けでもある。明治から昭和にかけて、多くの文人や政治家が滞在した、この別荘跡地についての所見は。	町長
				② 歴史的価値、文化的価値をどう評価するか。	
				③ 土地を所有する法人とは、どのようなコンタクトを取っているか。現在は外国資本の傘下にあるのか。	
				④ 土地の利用に関して、所有者に意向を確認しているか。	
				⑤ 町が適正価格で土地を購入し、歴史・文化遺産として活用する考えはないか。	
	(2) インフラの危機への対応は。橋りょうの老朽化にどう対処する考えか。中学校橋の位置づけは	① 町内にある190本の橋のうち、建設から50年以上の橋は、どれくらいあるのか。特に、60年以上が経過し老朽化が顕著な橋は何本あるのか。	町長		
		② 1年以上、通行止めとなっている橋はあるか。また、利用実態のない橋はあるか。			
		③ 本来は車道橋だが車の通行規制を行い、利用は歩行者、二輪車に限定している橋はほかにもあるか。			
		④ 全ての橋の建設した当時の資料、施工記録は残されているか。			
		⑤ 中学校橋を建設した昭和30年代は、どのような工法で造り、建設費は現在の貨幣価値でどれくらいだったのか。現在、同じ工法は使えないのか。			
		⑥ コンパクトシティとしての機能性、地域の持続可能性を追求する意識を住民と共有し、中学校橋のあるべき姿を議論する考えはあるか。			

質問順 第528回 令和5年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
2	1	川合 弘人	(3) 井戸尻考古館の新館建設を目指す中で、新年度のスケジュールは	① 新年度予算で用地買収を進める考えはあるか。	町長 教育長
				② 新館の建設用地は、現在の考古館のイメージを受け継ぎ、「井戸尻文化」を発信するにふさわしい場所の選定を目指しているか。観光の拡充に向けて駐車スペースも十分に確保できるか。	
				③ 風光明媚な場所で、自然環境との融合を期待することは可能か。	
		(4) 統計的にも有効な、富士見町の少子化政策を	① 統計的に、町内から誰がいなくなっているのか。転出超過の傾向は。	町長	
			② 戻ってこない理由は。就業先として選ばれていないとしたら、その理由は。		
			③ マッチング力、出生数維持力の低下を克服し、統計的に有効なライフデザインを描けるか。		
3	9	織田 昭雄	(1) 安心安全な富士見町の再点検について	① 町内の駅前や主要幹線道路の安全対策は、充分に対策が取られているか。	町長 教育長
				② 人の出入りが多いコミプラ、町民センター、海洋センター周辺やゆめ広場に防犯カメラの設置を考えるべきではないか。	
				③ 学校や保育園の防犯対策は完全か。また、警察などの指導を受けて、先生方の防犯対策訓練を毎年行ってはどうか。	
				④ 役場庁舎内の防犯対策と職員への周知は、どの様に行っているのか。	
		(2) 公道の冬の管理についての将来像について	① 高齢化に伴う行政区の除雪作業出払いについて、町はどの様に捉えているのか。	町長	
			② 町道でも町が雪かきをする路線と、行政区に任せる路線の判断基準はどの様になっているのか。その詳細は。		
			③ 富士見駅前広場や商店街を通過して国道20号線信号機までの間、県道の除雪した雪の苦情が毎年出るが、町としてはどの様に捉えているか。		
			④ 小規模地区だけでなく、最近は富士見区などでも高齢化に伴い雪かき出払いが難しくなるところが増えてきており、隣組単位で自腹で業者を頼み雪かきをしているところも出てきている。町はこうした実態は把握しているか。こうした所に何らかの補助は出来ないか。		
4	3	矢島 尚	(1) 今後の観光事業について	① 今以上に、友好都市・姉妹都市を町の観光事業に取り入れることはできないか。	町長
				② 道の駅信州蔦木宿、そば処おつこと亭の利用者増への対策は。	
				③ 近隣地域の諏訪広域や北杜市と観光客誘客に共同で行っている事業は。また新たな取り組みなどの考えはあるか。	
		(2) 教育施設の統廃合の考えは	① 町内3つの小学校に対して、今後の考えはあるか。	町長 教育長	
			② 町内5つの保育園に対して、今後の考えはあるか。		
		(3) 出生数減少を止める対策は	① ここ数年間、町内の出生数は2ヶタ台。今後の対策としての考えはあるか。	町長	

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者	
5	7	三井 新成	(1)	再生可能エネルギーの普及政策について	① 新年度予算の再生可能エネルギー対策として、どのような事業を考えているか。	町長
					② 屋根置きパネルの普及をどのように進めるか。	
					③ 農作物と併用しての縦置き型両面太陽光パネルの普及を考えているか。	
					④ 有害鳥獣対策の電気防護ネットの代わりに縦置き型両面太陽光パネルを採用する考えは。	
					⑤ EV車(電気自動車)の購入補助の考えは。	
			(2)	地方創生臨時交付金を使った2大リゾート攻めの誘客についての反省と今後について	① 2年間に2大リゾート関係で、支援補助事業を行った経済効果と反省点をどう考えているか。	町長
					② 町全体としての観光戦略において、今後に繋がる新しい事業として期待するものはあるか。	
					③ それぞれのリゾート会社に対しても、今後の新しい事業展開の素材提供を考えているか。	
					④ 目新しいリゾートとしてアイデアを集約する必要性を感じているが、産業課としてそのような展開ができるか。	
					⑤ 施設改修より、独自のメニューやお土産品の開発など観光アイテムを作り出せる協力隊員を採用できないか。	
					⑥ 雇用調整補助金の需給に関して、制度の適正利用等の指導とともに、補助政策の必要性をどう考えるか。	
			(3)	町内の出生率を上げる方策について	⑦ 富士見高原リゾートの雇用調整助成金の不正受給は、町にどのような影響があるか。	町長
					① 国の制度変更を待っていても大きく改善できないと考える。町独自で欧州並の児童手当の支給ができないか。	
					② 出生祝い金の多子世帯への段階的支給を行うべきと思うが、その考えは。	
					③ 多子世帯への所得税分の補助金制度や、住居費の補助を新設すべきと考えるが、町長の考えは。	
6	6	島 正孝	(1)	自然エネルギーの有効活用について	① 太陽光・風力・水力等の活用の取り組みの現状は。	町長
					② 自然環境との調和の望ましい将来の取り組みをどのように考えるか。	
					③ 自然環境との調和はどう図るのか。	
			(2)	境小学校、本郷小学校の児童数の減少が続いている。将来的な学校経営をどう考えているか	① 新入学児童の増加の取り組みは。	町長 教育長
					② 現状、在校児童数の減少が教育に及ぼす影響は。	
					③ 学校の統・廃校は視野に入ってきているか。	
			(3)	もう一度、富士見中学校の校名変更をする考えはないか	① 南中学校との統合で歴史ある、又日本で一校の富士見高原中学校から富士見中学校に変更した。その経緯は。	町長 教育長
					② 旧校名を惜しむ声を聞く。再度校名を検討する考えは。	
			(4)	緑の街づくりで、一家に一本、緑化木の苗木を配っては	① 町内の緑が年々減少している印象を受ける。緑豊かな街づくりの取り組みの現状は。	町長 教育長
					② 枳・桂・落葉松等の成長の早い樹木の苗木を各家庭に配り、緑の街づくりに取り組む考えは。	
					③ 樹木に関心を持ち、緑の景観の知識を深める教育の取り組みは実践しているか。	

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者	
7	5	牛山 基樹	(1)	2027年のリニア中央新幹線開通に備える町の全体構想は	① 町は、富士見町への影響についての分析状況、概要をどう予想しているか。	町長
					② 2027年のリニア開通に備えるべき構想はあるか。	
					③ 交通体系全般の整備と、地域公共交通ネットワーク充実に向けて、町はどんな計画を持って構築していくのか。	
					④ 上記は、令和2年6月議会一般質問で同じ質問要旨であるが、大きく変更となった点、重点的に取り組むべき課題は見えてきたか。	
			(2)	富士見高原リゾート、雇用調整助成金不正受給問題に対する町の考えは	① 町の所感ならびに、町の責任をどう考えるか。	町長
					② 高原リゾートに対し、町がコロナ対策として行った事業概要と、産業課、建設課等から支払われた事業別費用は。また、契約期間は。(コロナ対策地方創生臨時交付金及び町単独費用を含む)	
					③ 町のイメージ、リゾート業界、産業に与える影響をどう判断しているか。	
					④ 今後、同じような支援方針を続けるのか。新たな関係構築の考えはあるのか。	
			(3)	富士見町森林整備計画変更計画の進捗	① 森林税を活用した里山整備事業の内容と額は。	町長
					② 財産区の森林資源の位置付けは。	
					③ 森林資源を起点とした地域内活用、地域内循環経済を促す考えは。	
					④ カーボンクレジットの戦略はあるのか。	
⑤ 町民協働の森林ビジョン策定の重要性をどう考えるか。						
8	4	小倉 裕子	(1)	不登校児童生徒及び障害のある児童生徒への対応について	① 小学校、中学校における児童・生徒について、学習障害、注意欠陥多動性障害、高度自閉症等の発達障害の可能性があると判断は何に基づくものか。	教育長
					② 近年、自閉症等(ASD等)と診断される児童生徒数が特に増加しているが、その中の「反抗挑戦性障害」と「反抗期」はどのように区別されているか。	
					③ 障害のある児童生徒の進路と、社会に出てからの自立支援は。また、生活して行くための金銭的支援はあるか。	
					④ 不登校児童生徒の出席日数は、進路と内申書にどう影響されるのか。	
					⑤ 心身の成長と共に多感な時期を迎える小学校高学年の子どもと中学生に対応するための教員数、及び教員相互の支え合いの体制はあるか。	
					⑥ 子どもの成長に関しては様々な人の支えが必要。町として、町全体での子育てをどのように実現していくか。	
			(2)	独居高齢者の支援について	① 身内が近くにおらず、介護保険の認定も受けていない独居となった高齢者の把握と支援をどのように行っているか。	町長
					② 富士見町緊急通報システムの利用者数は。周知はどのように行っているか。	
					③ 利用者は、正しく利用できているか。課題はあるか。	

質問順 第528回 令和5年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
9	8	名取 武一	(1) 旧小川別荘跡地の今後について	① 帰去来荘周辺のメガソーラー計画は、事業者が事前協議書を取り下げ、周辺住民は安堵しているが、今後どうなるのか心配している。町の考えは。	町長
			(2) 境小学校周辺の太陽光発電計画について	① 2021年7月24日に申請された境小学校周辺の太陽光発電計画について、事業者は旧条例8条1項「説明会」を開いたことはなく、2項「周辺住民及び関係区の理解が得られるよう努め」た形跡が見られない。いまだ不許可にしている理由は何か。	町長
			(3) 国保料(子どもの均等割)について	① 子どもが増えるごとに国保料(均等割)が上がるのは、子育て支援に逆行している。国保料の均等割のうち、子どもの分については町が支援することはできないか。	町長
			(4) 中学校橋について	① 町は38年後以降の車道の建設は不可能との見解を示したが、技術的検証をどのようにしたか。更なる専門家の意見を聞く機会を求めるべきではないか。	町長
			(5) 高校再編について	① 県は「茅野富士見新校」を押し通そうとしているが、これ以上富士見高校の生徒数を減らさないために最大の努力をすべきではないか。	町長

3月6日(月) 5名 1番 ~ 5番  
7日(火) 4名 6番 ~ 9番